

平成30年度

鳥取大学大学院医学系研究科

生命科学専攻

機能再生医科学専攻

博士前期課程学生募集要項

鳥 取 大 学

鳥取大学大学院医学系研究科生命科学専攻博士前期課程教育に関する三つの基本方針

I. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

生命科学専攻博士前期課程は、本学が掲げる教育研究理念のもとに先端研究を行い、高い専門性と倫理観を備えた生命科学・医学研究を担う研究者の育成、および高度な専門性を求められる職業人の養成を図ることを目標とします。生命科学専攻博士前期課程では、学生が医学系研究科における学修と経験を通じて次の場合に、修士（生命科学）の学位を授与します。

- 1 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、学位論文審査および最終試験に合格すること。
- 2 生命科学・医学分野における豊かな学識を涵養し、倫理観および責任感を身につけること。
- 3 専門分野における高度な研究や専門性を有する職業を担う能力を獲得すること。

II. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

生命科学専攻博士前期課程は、学位授与の方針で示す能力や見識を主体的に身に付けることができるよう、体系的かつ包括的な生命科学・医学研究の専門教育課程の編成と研究指導を次の目標のもとに実施します。

- 1 生命科学・医学関連領域の知識・技術の修得（学際的大学院教育）と倫理観の涵養。
- 2 学内外の先端研究者による講義・セミナーを通じた専門知識の習得。
- 3 修士論文指導による課題探索力や問題解決力の育成。

III. アドミッション・ポリシー（入学者の受入れの方針）

生命科学専攻博士前期課程では、教育研究理念を達成するため、国内外から次のような入学者を求めています。

- 1 生命科学・医学研究に対し真摯かつ積極的な意欲を持つ人
- 2 研究課題を探究するための素養を備えている人
- 3 研究能力や専門性を要する職業を担う倫理観と責任感を持つ人

こうした入学者を受け入れるために、多様な入試方法によりその適性を確認します。

鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医科学専攻博士前期課程教育に関する三つの基本方針

I. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

機能再生医科学専攻博士前期課程は、学生が医学系研究科における学修と経験を通じて次の場合に、修士（再生医学）の学位を授与します。

- 1 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、学位論文審査および最終試験に合格すること。
- 2 遺伝子・再生医学、生命科学、基礎医学に関する深い知識を習得し理解すること。
- 3 先端医療を支える技術とその原理を理解すること。
- 4 基礎研究と臨床応用をつなぐトランスレーショナル・リサーチ（橋渡し研究）を遂行するための広い視野を身につけること。
- 5 生命や医療に関する倫理的課題の理解と、遺伝子・再生医学を担うものとしての高い倫理観と責任感を身につけること。

II. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

機能再生医科学専攻博士前期課程は、学位授与の方針で示す能力や特性を学生が主体的に身につけることができるよう、次の目標のもとに体系的な教育課程を編成し実施します。

- 1 幅広い医学と生命科学の知識、専門性の高い遺伝子・再生医学に関する知識、再生医療やその支援システムの研究や技術開発に必要な基礎技術の習得。
- 2 生命倫理の知識の習得と、議論を通じた高い倫理観の涵養。
- 3 臨床の現場を知りトランスレーショナルリサーチを担える能力の養成。
- 4 修士論文指導による課題探索力、問題解決力の育成。
- 5 上記による、遺伝子・再生医学や関連分野の研究者、基礎研究と臨床医学や産業界との橋渡しができる専門的職業人およびリサーチマインドをもった臨床医の育成。

III. アドミッション・ポリシー（入学者の受入れ方針）

- 1 機能再生医科学専攻博士前期課程では、理念・教育目標を達成するため、国内外から次のような入学者を求めています。

- (1) 遺伝子・再生医学の分野で研究課題を探究するために必要な基礎学力を備えている人。
- (2) 遺伝子・再生医学及びその関連分野の研究に対して積極的に取り組む意欲を持っている人。
- (3) 遺伝子・再生医学分野の高度な専門性を必要とする職業を担おうとする人。

- 2 こうした入学者を国内外から受け入れるために、多様な入試方法によりその適性を確認します。

目 次

生命科学専攻

募 集 要 項

I. 専攻及び募集定員	1
II. 出 願 資 格	1
III. 出願資格の認定	2
IV. 出 願 手 続	2
V. 入 試 方 法	3
VI. 合 格 発 表	4
VII. 入 学 手 続	4
VIII. そ の 他	5

入 学 案 内

I. 目 的	6
II. 修 業 年 限	6
III. 部門及び授業科目等	6
IV. 履修方法及び学位授与	6
V. 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について	7
VI. 入学料及び授業料の奨学融資制度について	7
VII. 奨学金制度について	7

機能再生医科学専攻

募 集 要 項

I. 専攻及び募集定員	8
II. 出 願 資 格	8
III. 出願資格の認定	8
IV. 出 願 手 続	9
V. 入 試 方 法	10
VI. 合 格 発 表	11
VII. 入 学 手 続	11
VIII. そ の 他	12

入 学 案 内

I. 目 的	13
II. 修 業 年 限	13
III. 部門及び授業科目等	13
IV. 履修方法及び学位授与	13
V. 長期履修制度について	14
VI. 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について	14
VII. 入学料及び授業料の奨学融資制度について	14
VIII. 奨学金制度について	15

米子地区案内図	16
---------	----

平成30年度鳥取大学大学院医学系研究科 生命科学専攻博士前期課程学生募集要項

I. 専攻及び募集定員

専攻	部門名	募集定員
生命科学	分子生物学、細胞工学、 免疫学、ゲノム医工学、 生体情報学、病態生化学、 神経生物学	10人

出願を希望する者は、出願前に志望部門の教授等と必ず連絡を取り、出願や入学後の研究活動等について相談してください。教授等の連絡先がわからない場合は、医学部学務課教育企画係にメールで照会してください。

教育企画係メールアドレス：me-gakumusou@ml.adm.tottori-u.ac.jp

II. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者及び平成30年3月31日までにいずれかに該当する見込みの者

1. 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
2. 学校教育法第104条第4項の規定により、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
7. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号参照）
9. 平成30年3月31日までに、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科が定める大学の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者
10. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
11. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

Ⅲ. 出願資格の認定

「Ⅱ. 出願資格の3、4、6、8、9、10、11」のいずれかにより出願を希望する者は、下記期間に鳥取大学医学部学務課教育企画係へ「出願資格認定申請書（様式A）」、「履歴書（様式B）」及びそれぞれの「証明できる書類（特に出願資格9に該当する者のうち、現在大学に在籍している者は、在学している大学の教員による推薦書及び成績証明書（厳封）」、「返信用封筒（定形型封筒（長形3号）に郵便切手362円分（速達料を含む）を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの。」を提出してください。

第1回 平成29年 6月 5日（月）から 6月 9日（金）まで（必着）

第2回 平成29年 9月25日（月）から 9月29日（金）まで（必着）

なお、審査の結果は、第1回は平成29年6月27日（火）、第2回は平成29年10月27日（金）までに本人あてに通知書を送付します。

Ⅳ. 出願手続

1. 出願期間

第1回 平成29年 7月 6日（木）から 7月13日（木）まで（必着）

第2回 平成29年11月 9日（木）から 11月15日（水）まで（必着）

受付時間は、平日の9時から17時まで

2. 出願書類提出先

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部学務課教育企画係 TEL (0859)38-7106

3. 出願方法

入学志願者は次の出願書類等を取り揃えて、鳥取大学医学部学務課教育企画係へ提出してください。郵送の場合は「速達・書留」とし、封筒（角型2号）の表に「大学院入学願書在中」と朱書してください。出願書類等に不備のある場合は受け取らないことがありますので十分留意してください。

4. 出願書類等

出願書類等	摘 要
(1) 志 願 票	本研究科所定の志願票に所要事項を記入のうえ、提出してください。
(2) 写真票・受験票	所要事項を記入し、写真（縦4cm×横3cm、上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの。）を貼って提出してください。
(3) 成 績 証 明 書	出身大学長（学部長）が作成し、厳封したものを提出してください。（学部の成績証明書）
(4) 卒業(修了)証明書、学位授与・修了(見込)証明書	1通（ただし、出願資格の認定を受けた者は不要です。）
(5) 検 定 料	検定料 30,000円 本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口（郵便局、ゆうちょ銀行を除く。ATMは利用しないでください。）から振り込みの上、「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付台紙」の所定の位置に貼り付けてください。 また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。 検定料振込期間 第1回 平成29年 7月 4日（火）から 7月13日（木）まで 第2回 平成29年11月 7日（火）から 11月15日（水）まで

	<p>なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>a. 検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった）場合</p> <p>b. 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合</p> <p>c. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>上記a～cに該当する場合は、必ず医学部学務課教育企画係（TEL(0859)38-7106）へ連絡してください。（返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。）</p> <p>ただし、外国人志願者のうち、日本政府（文部科学省）国費留学生は検定料の支払いは不要です。</p>
(6) 退職誓約書	現在、官公庁、学校、会社等に在職している者で、退職して入学する予定の者は、退職誓約書（様式1）を提出してください。
(7) 宛名票	本研究科所定の宛名票（様式4）に所要事項を記入の上、提出してください。
(8) 住民票等 (外国人のみ)	日本に在住する外国人は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し（両面）等、在留資格が記載されたものを、前述のものを提出することができない外国人はパスポートの写しを提出してください。
(9) 返信用封筒 (受験票送付用)	定形型封筒（長形3号）に郵便切手362円分（速達料を含む。）を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記の上、提出してください。

（注）本学医学部卒業（見込）者については(3)、(4)の出願書類は不要です。

※受験票は、第1回については7月14日（金）頃、第2回については11月16日（木）頃速達郵便で発送します。

なお、受験票が、第1回については7月19日（水）、第2回については11月21日（火）を過ぎても到着しない場合は、医学部学務課教育企画係（TEL（0859）38-7106）へお問い合わせください。

V. 入試方法

試験の成績、成績証明書等を総合して判定します。

なお、試験日時、試験科目等は以下のとおりです。

第1回 平成29年 8月 4日（金）

時 間	試 験 科 目		試験場
9:00 ～ 10:30	外国語（英語）	筆記試験	鳥取大学 医学部
11:00 ～ 12:30	専門科目 次の科目から2科目選択 生命科学概論、細胞生物学、分子生物学、神経生物学、免疫生物学、発生生物学、実験病理学		
13:30 ～	面 接		

第2回 平成29年12月 1日（金）

時 間	試 験 科 目		試験場
9:00 ～ 10:30	外国語（英語）	筆記試験	鳥取大学 医学部
10:50 ～	志望する研究分野に関連する口述試験及び面接		

(1) 試験室等詳細については、受験票送付時にお知らせします。

- (2) 外国語の試験については、辞書（和英、英和及び英英辞典のみ。）の持ち込みを許可します。（ただし、電子辞書は除く。）
- (3) 試験当日は8時40分までに試験室に入室してください。

VI. 合格発表

第1回 平成29年 8月25日（金）

第2回 平成30年 1月 9日（火）

鳥取大学医学部ホームページに合格者の受験番号を午前11時頃に掲載するとともに、本人あてに合格通知書のほか入学手続に必要な書類を送付します。（不合格者には通知しません。）

鳥取大学医学部ホームページURL：<http://www.med.tottori-u.ac.jp/exam/>

なお、電話による合否の照会には応じません。

ただし、出願資格9に該当する志願者について、在学中の成績が所定の要件を満たさない場合は、合格を取り消します。

また、成績確認に必要な書類等は、平成30年2月23日（金）まで（必着）に提出してください。

VII. 入学手続

平成30年2月13日（火）から平成30年2月28日（水）まで（必着）

受付時間は、平日の9時から17時まで

入学手続は、必要書類を取り揃えて入学手続期限までに必着となるよう「速達・書留」で郵送するか、直接持参し、完了してください。

なお、入学を辞退する場合は、医学部学務課教育企画係（TEL(0859)38-7106）へ連絡してください。

1. 手続書類等

(1) 受験票

(2) 入学料 282,000円（予定額）

- ① 合格者には所定の振込用紙を送付しますので、入学手続期間中にお振り込みください。ただし日本政府（文部科学省）国費留学生は不要です。
- ② 振込方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。
- ③ 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 入学料の免除（又は徴収猶予）を希望する場合は、入学手続時に入学料を納入しないでください。

(3) 授業料について

授業料 半期分 267,900円（予定額）〔年額 535,800円（予定額）〕

- ① 納入時期は、前期は5月、後期は11月です。ただし、日本政府（文部科学省）国費留学生は不要です。
- ② 本学では授業料の納入を、口座振替方式としています。
- ③ 口座振替手続等詳細については、合格通知の際にお知らせします。
- ④ 授業料の納入については、希望により前期分の納入時に後期分も併せて納入することができます。
- ⑤ 前期分授業料納入の際に、後期分授業料も併せて納入した者が平成30年9月30日までに休学又は退学した場合には、納入した者の申し出により後期分の授業料相当額を返還します。
- ⑥ 授業料の免除（又は徴収猶予）を希望する場合は、入学手続時に授業料を納入しないでください。

* 入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料、授業料を納入していただくこととなりますのでご了承ください。

2. 入学手続場所

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部学務課教育企画係 TEL (0859)38-7106

Ⅷ. その他

1. 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
2. 提出書類の記載と相違する事実が判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
3. 身体に障がいのある方で受験の際に配慮を必要とする者は、出願の前に申し出てください。
4. 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報については、入学者選抜に関わる業務（入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のために行う業務などを含む。）及び入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務を行うために利用するとともに管理します。他の目的での利用及び本学関係教職員以外への提供は行いません。

鳥取大学大学院医学系研究科 生命科学専攻博士前期課程入学案内

I. 目的

生命科学専攻（博士前期課程）では、生命科学・医学分野において高い専門性と倫理観を備えた萌芽的研究者および専門的職業人の養成を目指します。この目標に向けて、同分野における真理の探究や最先端の医療法の開発などに関する講義、演習、研究指導を通じて研究者としての素養を身につけることを目的とします。

II. 修業年限

博士前期課程 標準修業年限 2年

III. 部門及び授業科目等

専攻	部 門 名	指 導 教 員	授 業 科 目	入学定員
生 命 科 学	分子生物学、細胞工学、 免疫学、ゲノム医工学	林 眞一 教授 初沢清隆 教授 堀 直裕准教授 吉野三也准教授 井上敏昭准教授	分子生物学特論・演習 細胞工学特論・演習 (ゲノム医工学特論・演習) 免疫学特論・演習	10人
	生体情報学、病態生化学、 神経生物学	竹内 隆 教授 岡田 太 教授 尾崎充彦准教授 林 利憲准教授	生体情報学特論・演習 病態生化学特論・演習 神経生物学特論・演習	

この他に医学概論、医科学特論、特別学外実習、生命科学特別研究が開講されます。

* 医学系研究科他専攻の授業科目についても、受講することができます。

IV. 履修方法及び学位授与

1. 本研究科において、2年以上在学し下記のとおり30単位以上履修します。

(1) 必修科目 10単位

(2) 選択科目 20単位以上

2. 上記の条件を満たし、かつ、指導教員の研究指導を受け、論文を作成し、論文審査及び試験に合格した者に修士（生命科学）の学位を授与します。

ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績をあげた者については、1年以上在学すれば足りるものとします。

V. 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について

次のいずれかの条件に該当し、入学料又は授業料の納入が著しく困難と認められる場合は、本人の事前申請に基づき選考の上、入学料又は授業料が免除（全額又は半額）される制度があります。

- (1) 経済的理由によって入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
 - (2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
 - (3) (2) に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合
- 詳細については、医学部学務課学生係（TEL (0859)38-7100）へお問い合わせください。

VI. 入学料及び授業料の奨学融資制度について

入学料・授業料の免除又は徴収猶予を申請し、免除等の結果が出た後、本人の申請に基づき、本学が指定する金融機関から、入学料又は授業料の融資（ローン）を受けられる制度があります。

(申込対象者)

入学料・授業料の免除又は徴収猶予申請者のうち、免除等の基準を満たしている者

※別途、金融機関の融資審査があり、融資を受けられない場合があります。

※融資額の返済は、本学を卒業（修了）後、元金及び利息分を月賦払い等により返済することになります。なお、在学中の利息分は本学が支払うため、学生の負担はありません。

詳細については、医学部学務課学生係（TEL (0859)38-7100）へお問い合わせください。

VII. 奨学金制度について

独立行政法人日本学生支援機構等において、人物・学業とも優れ、かつ、健康であって、経済的理由により修学が著しく困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、奨学金を貸与し、修学を援助する制度があります。

詳細については、医学部学務課学生係（TEL (0859)38-7100）へお問い合わせください。

平成30年度鳥取大学大学院医学系研究科 機能再生医科学専攻博士前期課程学生募集要項

I. 専攻及び募集定員

専攻	部門等名	募集定員
機能再生医科学	遺伝子機能工学、生体高次機能学、 蛋白質機能学、遺伝子医療学、 再生医療学、制御再建医学	11人 (社会人若干名を含む。)

出願を希望する者は、出願前に志望部門の教授等と必ず連絡を取り、出願や入学後の研究活動等について相談してください。教授等の連絡先がわからない場合は、医学部学務課教育企画係にメールで照会してください。

教育企画係メールアドレス：me-gakumusou@ml.adm.tottori-u.ac.jp

II. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者及び平成30年3月31日までにいずれかに該当する見込みの者

1. 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
2. 学校教育法第104条第4項の規定により、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
7. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号参照）
9. 平成30年3月31日までに、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科が定める大学の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者
10. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
11. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

III. 出願資格の認定

「II. 出願資格の3、4、6、8、9、10、11」のいずれかにより出願を希望する者は、下記期間に鳥取大学医学部学務課教育企画係へ「出願資格認定申請書（様式A）」、「履歴書（様式B）」及びそれぞれの「証明できる書類（特に出願資格9に該当する者のうち、現在大学に在籍している者は、在学している大学の教員による推薦書及び成績証明書（厳封）」、「返信用封筒（定形型封筒（長形3号）に郵便切手362円分（速達料を含む）を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの。）」を提出してください。

第1回 平成29年 6月 5日(月) から 6月 9日(金) まで(必着)

第2回 平成29年 9月 25日(月) から 9月 29日(金) まで(必着)

審査の結果は、第1回は平成29年6月27日(火)、第2回は平成29年10月27日(金)までに本人あてに通知書を送付します。

IV. 出願手続

1. 出願期間

第1回 平成29年 7月 6日(木) から 7月13日(木) まで(必着)

第2回 平成29年11月 9日(木) から 11月15日(水) まで(必着)

受付時間は、平日の9時から17時まで

2. 出願書類提出先

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部学務課教育企画係 TEL (0859)38-7106

3. 出願方法

入学志願者は次の出願書類等を取り揃えて、鳥取大学医学部学務課教育企画係へ提出してください。郵送の場合は「速達・書留」とし、封筒(角型2号)の表に「大学院入学願書在中」と朱書してください。出願書類等に不備のある場合は受け付けないことがありますので十分留意してください。

4. 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
(1) 志 願 票	本研究科所定の志願票に所要事項を記入のうえ、提出してください。
(2) 写真票・受験票	所要事項を記入し、写真(縦4cm×横3cm、上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの。)を貼って提出してください。
(3) 成績証明書	出身大学長(学部長)が作成し、厳封したものを提出してください。(学部の成績証明書)
(4) 卒業(見込)証明書、学位授与・修了(見込)証明書	1 通 (ただし、出願資格の認定を受けた者は不要です。)
(5) 検 定 料	検定料 30,000円 本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口(郵便局、ゆうちょ銀行を除く。ATMは利用しないでください。)から振り込みの上、「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付台紙」の所定の位置に貼り付けてください。 また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。 検定料振込期間 第1回 平成29年 7月 4日(火) から 7月13日(木) まで 第2回 平成29年11月 7日(火) から 11月15日(水) まで なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 a. 検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった)場合 b. 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合 c. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

	<p>上記a～cに該当する場合は、必ず医学部学務課教育企画係(TEL(0859)38-7106)へ連絡してください。(返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。)</p> <p>ただし、外国人志願者のうち、日本政府(文部科学省)国費留学生は検定料の支払いは不要です。</p>
(6) 受験承認書	<p>現在、官公庁、学校、会社、病院等に在職している者は、当該所属長の受験承認書(様式2)を提出してください。</p> <p>なお、退職して入学する予定者は本人がその旨を記載した文書(署名、押印)をもって受験承認書に代えることができます。</p>
(7) 志望理由書	(6)に該当する者は、本人の受験に至った志望理由書(様式3)を提出してください。
(8) 宛名票	本研究科所定の宛名票(様式4)に所要事項を記入の上、提出してください。
(9) 住民票等 (外国人のみ)	日本に在住する外国人は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し(両面)等、在留資格が記載されたものを、前述のものを提出することができない外国人はパスポートの写しを提出してください。
(10) 返信用封筒 (受験票送付用)	定形型封筒(長形3号)に郵便切手362円分(速達料を含む。)を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記の上、提出してください。

(注) 1. 本学医学部卒業(見込)者については(3)、(4)の出願書類は不要です。

2. (6)について、本学医学部または附属病院に勤務する者は、本学医学部総務課人事係へ申請してください。

※受験票は、第1回については7月14日(金)頃、第2回については11月16日(木)頃速達郵便で発送します。

なお、受験票が、第1回については7月19日(水)、第2回については11月21日(火)を過ぎても到着しない場合は、医学部学務課教育企画係(TEL(0859)38-7106)へお問い合わせください。

V. 入試方法

試験の成績、成績証明書等を総合して判定します。

なお、試験日時、試験科目等は以下のとおりです。

第1回 平成29年 8月 4日(金)

時 間	試 験 科 目	試験場
9:00 ~ 10:30	外国語(英語)	鳥取大学 医学部
11:00 ~ 12:30	専門科目 次の科目から2科目選択 生命科学、工学、農学、薬学、医学	
13:30 ~	面 接	

第2回 平成29年12月 1日(金)

時 間	試 験 科 目	試験場
9:00 ~ 10:30	外国語(英語)	鳥取大学 医学部
10:50 ~	志望する研究分野に関連する口述試験及び面接	

(1) 試験室等詳細については、受験票送付時にお知らせします。

(2) 外国語の試験については、辞書(和英、英和及び英英辞典のみ。)の持ち込みを許可します。(ただし、電子辞書は除く。)

(3) 試験当日は8時40分までに試験室に入室してください。

VI. 合格発表

第1回 平成29年 8月25日(金)

第2回 平成30年 1月 9日(火)

鳥取大学医学部ホームページに合格者の受験番号を午前11時頃に掲載するとともに、本人あてに合格通知書のほか入学手続に必要な書類を送付します。

(不合格者には通知しません。)

鳥取大学医学部ホームページURL: <http://www.med.tottori-u.ac.jp/exam/>

なお、電話による合否の照会には応じません。

ただし、出願資格9に該当する志願者について、在学中の成績が所定の要件を満たさない場合は、合格を取り消します。

また、成績確認に必要な書類等は、平成30年2月23日(金)まで(必着)に提出してください。

VII. 入学手続

平成30年2月13日(火)から平成30年2月28日(水)まで(必着)

受付時間は、平日の9時から17時まで

入学手続は、必要書類を取り揃えて入学手続期限までに必着となるよう「速達・書留」で郵送するか、直接持参し、完了してください。

なお、入学を辞退する場合は、医学部学務課教育企画係(TEL(0859)38-7106)へ連絡してください。

1. 手続書類等

(1) 受験票

(2) 入学料 282,000円(予定額)

① 合格者には所定の振込用紙を送付しますので、入学手続期間中にお振り込みください。ただし、日本政府(文部科学省)国費留学生は不要です。

② 振込方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

③ 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

④ 入学料の免除(又は徴収猶予)を希望する場合は、入学手続時に入学料を納入しないでください。

(3) 授業料について

授業料 半期分 267,900円(予定額) [年額 535,800円(予定額)]

① 納入時期は、前期は5月、後期は11月です。ただし、日本政府(文部科学省)国費留学生は不要です。

② 本学では授業料の納入を、口座振替方式としています。

③ 口座振替手続等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

④ 授業料の納入については、希望により前期分の納入時に後期分も併せて納入することができます。

⑤ 前期分授業料納入の際に、後期分授業料も併せて納入した者が平成30年9月30日までに休学又は退学した場合には、納入した者の申し出により後期分の授業料相当額を返還します。

⑥ 授業料の免除(又は徴収猶予)を希望する場合は、入学手続時に授業料を納入しないでください。

* 入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料、授業料を納入していただくこととなりますのでご了承ください。

2. 入学手続場所

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部学務課教育企画係 TEL (0859)38-7106

Ⅷ. その他

1. 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
2. 提出書類の記載と相違する事実が判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
3. 身体に障がいのある方で受験の際に配慮を必要とする者は、出願の前に申し出てください。
4. 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報については、入学者選抜に関わる業務（入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のために行う業務などを含む。）及び入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務を行うために利用するとともに管理します。他の目的での利用及び本学関係教職員以外への提供は行いません。

鳥 取 大 学 大 学 院 医 学 系 研 究 科

機 能 再 生 医 科 学 専 攻 博 士 前 期 課 程 入 学 案 内

I. 目的

機能再生医科学専攻においては、21世紀における新領域である遺伝子・再生医療の開発と教育を通じて、この領域における特化した人材育成を目指します。この目標に向けて、遺伝子・再生医療に関する国内外の動向を、網羅的に理解し、加えて倫理観を持った研究者、企業人及び臨床医の育成を目的とします。

II. 修業年限

博士前期課程 標準修業年限 2年

III. 部門及び授業科目等

専攻	講座名	部門等名	指導教員	授業科目	入学定員
機能再生医科学	生体機能医工学	遺伝子機能工学	久郷裕之教授 香月康宏准教授	(基礎科目) 分子細胞生物学特論、発生工学特論、臨床人類遺伝学特論、ゲノム情報医学特論、分子病理病態学特論 (学際領域科目) 生命倫理学特論、遺伝子再生医療学セミナー、産官学連携セミナー (コア専門科目) 細胞分化・老化機構学特論・演習、システム生物学特論・演習、臨床遺伝子再生工学特論・演習、臨床病態再生医学特論・演習、ゲノム医工学特論・演習、組織器官発生学特論・演習	11人
		生体高次機能学	畠 義郎教授 中村貴史准教授		
		(協力部門) 蛋白質機能学	河田康志教授 溝端知宏准教授		
		(連携研究所) 協和発酵キリン株式会社	(客員) 掛田実教授他		
	遺伝子再生医療学	遺伝子医療学	汐田剛史教授 土谷博之准教授	(選択専門科目) 遺伝薬物治療学特論、遺伝子ベクター学特論、制御再建医学特論、蛋白質機能学特論、生物資源応用医工学特論、特別学外実習 (特別研究) 機能再生医科学特別研究 臨床現場実習	
		再生医療学	久留一郎教授 白吉安昭准教授		
(協力部門) 制御再建医学		山本一博教授 加藤雅彦准教授			

* 医学系研究科他専攻及び工学研究科化学・生物応用工学専攻の授業科目についても、受講することができます。

IV. 履修方法及び学位授与

1. 本研究科において、2年以上在学し下記のとおり30単位以上履修します。

講義	14単位以上
専門演習	2単位以上
特別研究	12単位
臨床現場実習	2単位*
合計	30単位以上

* 医学部医学科以外の卒業生は必修です。

2. 大学院設置基準第14条による教育方法の特例による教育の実施について

(1) 目的

通常の教育方法では、社会人の多くは学業に専念することは非常に困難であるところから、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を活用して、広く医学関連分野で活躍している社会人に対して夜間、その他特定の時間・期間に授業または研究指導等を行う就学の機会を設けて、社会の要請と教育の機会の多様化に対応することを目的とします。

(2) 授業の実施方法

特例による授業は、夜間（18：30～21：40）、土曜日、日曜日、夏季・冬季休業期間（集中講義）に実施します。

また、研究指導及び論文の作成にあたっては、夜間、土曜日、日曜日或いはコンピュータネットワーク等のマルチメディアを活用して指導します。

* 大学院設置基準第14条

「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」

3. 上記1の条件を満たし、かつ、指導教員の研究指導を受け、論文を作成し、論文審査及び試験に合格した者には「修士（再生医科学）」の学位を授与します。

ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績をあげた者については、1年以上在学すれば足りるものとします。

V. 長期履修制度について

長期履修制度は、職業を有している等の事情により、通常の標準修業年限（2年間）では修了が困難である者に対し、標準修業年限を超えて一定の期間（最長4年間）にわたり計画的な履修を認める制度です。

また、授業料については、標準修業年限の2年間で支払うべき総額を、長期履修を認められた期間で均等割して支払うこととなります。

なお、長期履修制度の適用を希望する者は、入学手続き時に申請が必要です。詳細については、医学部学務課教育企画係までお問合せください。

VI. 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について

次のいずれかの条件に該当し、入学料又は授業料の納入が著しく困難と認められる場合は、本人の事前申請に基づき選考の上、入学料又は授業料が免除（全額又は半額）される制度があります。

(1) 経済的理由によって入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

(2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

(3) (2)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

詳細については、医学部学務課学生係（TEL（0859）38-7100）へお問い合わせください。

VII. 入学料及び授業料の奨学融資制度について

入学料・授業料の免除又は徴収猶予を申請し、免除等の結果が出た後、本人の申請に基づき、本学が指定する金融機関から、入学料又は授業料の融資（ローン）を受けられる制度があります。

(申込対象者)

入学料・授業料の免除又は徴収猶予申請者のうち、免除等の基準を満たしている者

※別途、金融機関の融資審査があり、融資を受けられない場合があります。

※融資額の返済は、本学を卒業（修了）後、元金及び利息分を月賦払い等により返済することとなります。なお、在学中の利息分は本学が支払うため、学生の負担はありません。

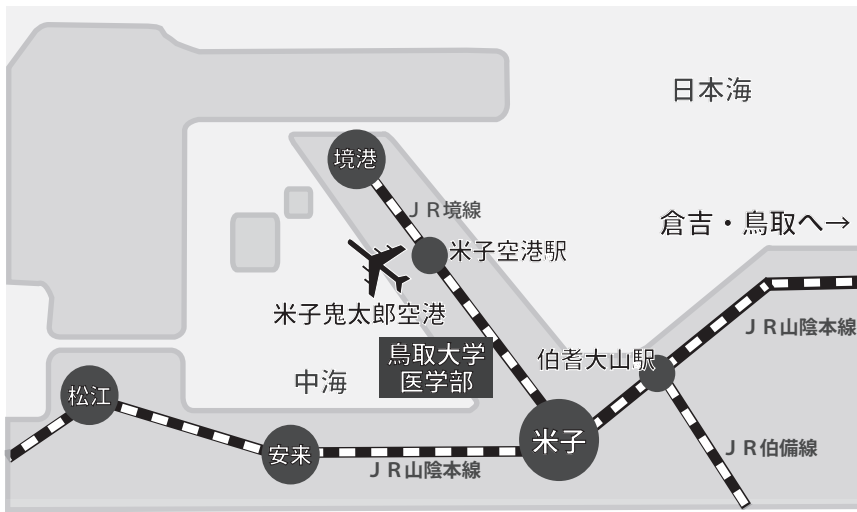
詳細については、医学部学務課学生係（TEL（0859）38-7100）へお問い合わせください。

VIII. 奨学金制度について

独立行政法人日本学生支援機構等において、人物・学業とも優れ、かつ、健康であって、経済的理由により修学が著しく困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、奨学金を貸与し、修学を援助する制度があります。

詳細については、医学部学務課学生係（TEL (0859)38-7100）へお問い合わせください。

米子地区案内図



- ① J R 米子駅から徒歩約 15 分
- ② J R 米子駅からタクシー約 5 分
- ③ 米子鬼太郎空港からタクシー約 20 分



アレスコ棟



医学部附属病院



総合教育棟



総合研究棟



生命科学棟

平成30年度 鳥取大学大学院医学系研究科 博士前期課程

志 願 票

※必ず出願前に志望部門の教授等と連絡を取り、出願や入学後の研究活動等について相談してください。

専攻	<input type="checkbox"/> 生命科学専攻 <input type="checkbox"/> 機能再生医科学専攻		受験番号	*	
出願方法	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 社会人 <input type="checkbox"/> 外国人留学生				
志望部門	第1志望				
	第2志望				
ふりがな 氏名		男 女	昭和 平成	年 月 日 (才)	
出願資格	大学 短期大学 専門学校 学部 学科 昭和 平成 年 月 卒業見込				
国籍 (外国人のみ記入)					
ふりがな 住所	TEL (携帯) () -				
連絡先 又は 勤務先	ふりがな 氏名 (又は勤務先)			続柄	
	ふりがな 住所	TEL () -			

出願の際は、必ず募集要項をお取り寄せ
いただき、添付されている指定用紙を使用
してください。

- 備考
- (1) *欄を除きすべて記入してください。
 - (2) 専攻、出願方法を選択し□に✓を付してください。
 - (3) 裏面の履歴欄も記入してください。
 - (4) 志望部門の第1志望と第2志望は、同一専攻内の部門名を記入してください。
 - (5) 志望部門は参考として、入学後配属部門を決定します。

平成30年度
鳥取大学大学院医学系研究科博士前期課程

写 真 票

専攻	<input type="checkbox"/> 生命科学専攻 <input type="checkbox"/> 機能再生医科学専攻
受験番号	*
氏名	

写真貼付欄
(上半身・無帽・正
面向きで、出願前
3か月以内に撮
影したものをの
り付けしてくだ
さい。)
縦4cm×横3cm

平成30年度
鳥取大学大学院医学系研究科博士前期課程

受 験 票

専攻	<input type="checkbox"/> 生命科学専攻 <input type="checkbox"/> 機能再生医科学専攻
受験番号	*
氏名	

写真貼付欄
(上半身・無帽・正
面向きで、出願前
3か月以内に撮
影したものをの
り付けしてくだ
さい。)
縦4cm×横3cm

見 本

切り離さないで提出してください。裏面も記入してください。

(様式1)

受験番号	*
------	---

*欄は記入しないこと。

退職誓約書

鳥取大学大学院医学系研究科長 殿

私は現在、在職中ですが鳥取大学大学院医学系研究科生命科学専攻博士前期課程を受験することを希望します。

また、合格した際には、退職して入学することを誓約いたします。

平成 年 月 日

氏名

印

(様式2)

受験番号	*
------	---

*欄は記入しないこと。

受 験 承 認 書

平成 年 月 日

鳥取大学大学院医学系研究科長 殿

所属機関名

所属長名

公
印

下記の者が、鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医科学専攻博士前期課程を受験することを承認します。

なお、同人が貴研究科に入学する場合は、在職のまま就学することを承認します。

記

所属部署

職 名

氏 名

※所属長（学長、学部長、病院長、代表取締役 等）の公印によるものを提出してください。

※入学後、職場が変更する者については、「なお、」以下を二重線で消してください。

宛 名 票

- ◎ 志願者は本票を学生募集要項記載の出願書類と一緒に必ず提出してください。
- ◎ 楷書で丁寧に記入してください。

入試に関する確実な連絡先を記入してください。

場所がアパート、団地等の場合は「様方」の欄にアパート、団地名等を記入してください。
※印欄（受験番号欄）以外はすべて記入してください。

下欄に、郵便番号、住所及び氏名を記入してください。

受験番号
□□□-□□□□
様方
様

見本

出願の際は、必ず募集要項をお取り寄せいただき、添付されている指定用紙を使用してください。

下欄に、郵便番号、住所及び氏名を記入してください。

受験番号
□□□-□□□□
様方
様

下欄に、郵便番号、住所及び氏名を記入してください。

受験番号
※
□□□-□□□□
様方
様

※はがしたり、切ったりしないでそのまま提出してください

平成30年度鳥取大学大学院医学系研究科
生命科学専攻
機能再生医科学専攻
博士前期課程入学試験出願資格認定申請書

鳥取大学大学院医学系研究科長 殿

申請者
氏名 印

生年月日 昭和・平成 年 月 日

住所 〒 -

電話番号 () -

志望部門

別紙の書類を添付のうえ、標記出願資格の認定を申請します。

記

認定を希望する区分・出願資格	<input type="checkbox"/> 生命科学専攻	<input type="checkbox"/> 出願資格3	<input type="checkbox"/> 出願資格9
	<input type="checkbox"/> 機能再生医科学専攻 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 社会人	<input type="checkbox"/> 出願資格4 <input type="checkbox"/> 出願資格6 <input type="checkbox"/> 出願資格8	<input type="checkbox"/> 出願資格10 <input type="checkbox"/> 出願資格11

※ 認定を希望する区分・出願資格の□にチェックを付けてください。

履 歴 書

(出願資格認定申請用)

鳥取大学大学院医学系研究科

<input type="checkbox"/> 生命科学専攻		博士前期課程			
<input type="checkbox"/> 機能再生医科学専攻 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 社会人		出願資格 [] 該当番号を記入			
ふりがな 氏名		生年月日	昭和・平成 年 月 日生	性別	男・女
現住所	〒 — Tel () —				
学 歴 ※高等学校(同等の教育機関を含む)卒業以上について記入してください。					
年 月	高等学校卒業				
年 月～年 月					
年 月～年 月					
年 月～年 月					
職 歴					
年 月～年 月					
年 月～年 月					
年 月～年 月					
年 月～年 月					
年 月～年 月					
年 月～年 月					
資 格 ・ 免 許 等					
年 月					
年 月					

1. 欄が不足する場合は、別紙を添付してください。
2. 該当する□にチェックをしてください。

検定料振込依頼書

記入要領等

- ご依頼日欄 : 振込年月日を記入してください。
- 振込先欄 : 山陰合同銀鳥取営業部又は鳥取銀行湖山支店のどちらかを選び○印を付けてください。
- ご依頼人欄 : 受験者本人の氏名(カナ欄及び漢字欄)を、丁寧に記入してください。
: 住所欄は、郵便番号及び電話番号もご記入願います。
- ※ 第1回の試験出願者は、平成29年 7月 4日(火)～ 7月13日(木)までの期間に振込みしてください。
- ※ 第2回の試験出願者は、平成29年11月 7日(火)～11月15日(水)までの期間に振込みしてください。
- ※ ATMは利用しないでください。また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。

※ 黒の切り取り線から切り離し使用してください。

見

○

本

検定料振込済証明書(大学提出用)
貼付台紙

電信扱

振込依頼書 (取扱店保存)

科目

ご依頼日	平成 年 月 日	金額	円
振込先	山陰合同銀行 鳥取営業部 普通 3908393 鳥取銀行 湖山支店 普通 0045136	金額	円
受取人	コリツダイガクホウジン トトリダイガク 国立大学法人 鳥取大学	振込先	山陰合同銀行 鳥取営業部 普通 3908393 鳥取銀行 湖山支店 普通 0045136
ご依頼人	※ 金融機関様へ 必ず依頼人の研究科コード及び氏名(カナ)を打電してください。 研究科コード 20 氏名(カナ) 氏名(漢字) (住所) 〒 (電話) () -	受取人	国立大学法人 鳥取大学 鳥取市湖山町南4-101 (電話) 0857-31-5029
	収納印または振替印	ご依頼人	氏名(カナ) 氏名(漢字)
		入試区分	平成30年度 鳥取大学大学院 医学系研究科入学試験
		手数料	円
		上記金額正に受取りました。	
		(取扱店) 銀行 収印 入紙	
		店	

出願の際は、必ず募集要項をお取り寄せ
いただき、添付されている指定用紙を使用
してください。

切り離さないでください

切り離さないでください

検定料振込金 (兼手数料)

受取書 (本人保存)

ご依頼日	平成 年 月 日	金額	円
振込先	山陰合同銀行 鳥取営業部 普通 3908393 鳥取銀行 湖山支店 普通 0045136	金額	円
受取人	国立大学法人 鳥取大学 鳥取市湖山町南4-101 (電話) 0857-31-5029	振込先	山陰合同銀行 鳥取営業部 普通 3908393 鳥取銀行 湖山支店 普通 0045136
ご依頼人	氏名(カナ) 氏名(漢字)	受取人	国立大学法人 鳥取大学 鳥取市湖山町南4-101 (電話) 0857-31-5029
入試区分	平成30年度 鳥取大学大学院 医学系研究科入学試験	ご依頼人	氏名(カナ) 氏名(漢字)
手数料	円	入試区分	平成30年度 鳥取大学大学院 医学系研究科入学試験
上記金額正に受取りました。			
(取扱店) 銀行 収印 入紙			
店			

検定料振込済証明書 (大学提出用)

ご依頼日	平成 年 月 日	金額	円
振込先	山陰合同銀行 鳥取営業部 普通 3908393 鳥取銀行 湖山支店 普通 0045136	金額	円
受取人	国立大学法人 鳥取大学 鳥取市湖山町南4-101 (電話) 0857-31-5029	振込先	山陰合同銀行 鳥取営業部 普通 3908393 鳥取銀行 湖山支店 普通 0045136
ご依頼人	氏名(カナ) 氏名(漢字)	受取人	国立大学法人 鳥取大学 鳥取市湖山町南4-101 (電話) 0857-31-5029
入試区分	平成30年度 鳥取大学大学院 医学系研究科入学試験	ご依頼人	氏名(カナ) 氏名(漢字)
		入試区分	平成30年度 鳥取大学大学院 医学系研究科入学試験

※ 本票は、貼付台紙に貼り付けし、大学へ提出してください。

(取扱店) 銀行 収印 入紙
店